

久美高生の作文が新聞記事に③

～ 2年生 授業で「環境問題」を考える ～

選択科目「環境科学」で、2年生が環境についての作文を書きました。書いた作文は昨年度に引き続き京都新聞のオピニオン・社説欄「窓 読者の声」に投稿しており、掲載されたものを紹介します。

2/23
(水)

3/16
(水)

右
こだま

皆の協力で環境保全を

京丹後市・村岡 大樹(高校生・17)

地球の環境を守るために「ああした方がよい。こらうした方がよい」などと、いろいろなお話が言われています。そこで、私はエコについて考えてみました。

私の家は旅館をしています、カキやカニの殻を普通に捨てているのですが、それでは環境に悪いので、殻を砕いて畑などに捨て、肥料として利用したいと思いました。これはわが家だけではなく、何軒もまとまって実施できればと

私は、エコバッグを持って買い物に行き、レジ袋を使わないようにしています。また、クーラーや電気などをそれぞれの部屋で使わず、たまには、一つの部屋に家族が集まっています。こうすれば、だんらんも兼ねながら人のいない部屋の電力の節約ができます。

私一人ではあまり環境やエコに貢献できないけれども、皆がその気になれば、地球の環境は少しずつ変わっていくと思います。

ゴミ捨てぬよう協力を

京丹後市・福井 寛章(高校生・17)

私はこれまで、地球温暖化問題や身近な環境問題について、あまり関心がありませんでした。「そう思ったことは誰かほかの人がやるだろうし、自分はいいや」と、心のどこかで思っていました。でも、高校生になってから、

街中にも吸い殻や空き缶が捨ててありますが、みんなが「捨てるも誰かが捨てるだろう」と思っているから、

クラスの中でゴミの問題が起こった時に「みんなが人任せにするから汚くなるんだ」と、あらためて思いました。

3/9
(水)

紙を無駄にしては駄目

京丹後市・宮崎 樹里(高校生・17)

紙の原料が木だということとは、誰もが知っていることだ。しかし、紙を作ることで、たくさんの木が伐採されていることに思いが及んでいるだろうか。古紙をリサイクルして、ティッシュや紙バック、ノートなどに再利用されているものの、普及、紙というものを無駄にしていることが多いと思う。

私は、紙を捨てることは木を捨てることと同じことだと思う。木は、私たち人間にとって、とても重要な欠かせない物である。その木を無駄に使い、捨てるということは、これこそ大げ

さだが、命を捨てていることにもなりかねないのではないだろうか。

メモ帳などは、チラシ広告の裏を使えばいい。このような、小さなことから考えていけばいいと思う。紙だけではなく、一つ一つの物を大切にすることを、近ごろの人間は忘れていてはいないだろうか。

物を大切にすれば、ゴミも減る。ゴミを完全になくすということは、生活をしている以上不可能だが、減らすことは可能だと思う。まずは、紙から大切にしてみようだろうか。

捨ててしまおうのだと思いません。私も最初は、そう思っていました。でも、捨てる人になりませんでした。

散歩の時にゴミを拾ったり、ポランテアで清掃活動を手伝っている人がいるけれど、それは、多くの人がゴミを捨てて街を汚すから、やむにやまれぬ気持ちでされているのかもしれない。

環境問題の改善に向け、今後、ゴミを捨てる人が少なくなればいいと思います。私も、ゴミを減らすためにポランテアに協力したいです。